

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	中央大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	チュウオウダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ実習
	学部・研究科等名	商学部
	担当教職員名・役職	宇野 典明
基本情報	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	10
	受入企業等数	14
	受入企業等名	福島県、東京聖労院つきみの園、三井不動産リアルティ、ファーストヴィレッジ、Fringe 81、武蔵コーポレーション、西川産業、エクスポインターナショナル、明治安田生命保険、キャンノン、ニトリ、イトーヨーカドー、セブン&アイフードシステムズ、Mark Styler
	インターンシップの分類	2.有給インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
要素①	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップとして認めているプログラム1. キャリアセンターが募集しているインターンシッププログラム2. 一般公募をしている国内インターンシップで実施前に担当教員が認めたプログラム3. 商学部が募集する国内インターンシッププログラム4. 商学部グローバル・インターンシッププログラム5. その他担当教員が認めたインターンシッププログラム
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ実習」は、前提科目として「インターンシップ入門」、「インターンシップ演習」を履修したうえで、履修することができる
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	事前に、インターンシップ入門、インターンシップ演習の授業を行っている

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	学生から適宜連絡をもらう
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	企業で働く際に求められる能力とその身に付け方、企業の採用についての考え方・実態、日本の企業に勤めること以外の選択肢があることなどについて、かつて採用担当をしていた教員による講義形式の授業を行っている(インターンシップ入門、2単位)。また、同様のテーマについてのグループディスカッションを中心とした演習形式の授業も行っている(インターンシップ演習、2単位)。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	全員で事後報告会を実施している
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	何らかの相談、問題があった場合には、担当教員にメール、電話などで連絡をしてもらう
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前・事後の授業学習以外に、研修先によるインターンシップ評価、レポートで評価している
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	計10日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	計10日間
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	原則として、5日間以上のインターンシップを含めて、計10日間としている
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	7.その他
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	学生が自分でインターンシップ先を探してくるため、基本的に学生の自己責任で行っている。
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生が自分でインターンシップ先を探してくるため、基本的に学生の自己責任で行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://syllabus.chuo-u.ac.jp/syllabus/detail/?action_ret=freeword-result&search=search&free_word=%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%BC%E3%83%B3%E3%82%B7%E3%83%83%E3%83%97%E5%AE%9F%E7%BF%92&id=575
問い合わせ先	大学等名	中央大学
	担当部署名	商学部事務室
	担当者役職名	副課長
	担当者氏名	鈴木 健太
	電話番号	042-674-3515
	メールアドレス	suzukik@tamajs.chuo-u.ac.jp